

Contents

- 同窓会会長ご挨拶 秋元 俊通 P1
- 同窓会からのお知らせ P2
- 特別対談
新学長 渡邊 浩文氏 × 新特別顧問 今野 弘氏 P3
- 八木山キャンパス新築建設 P6
- TOHTECH2023 募金ご支援のお願い P7
- 支部活動等報告
山形支部 P8
尚建会、工大杜の会 P9
- 新副学長ご挨拶 P10
副学長 小林 正樹氏
副学長・建築学部長 石井 敏氏
- 学部長・学科長のご紹介 P11
新学部長ご挨拶
工学部長 工藤 栄亮氏
新学科長ご挨拶 P12
情報通信工学科 木戸 博氏
建築学科 有川 智氏
- 仙台城南高等学校は次のステージに向け発信します ... P13
- 第46回工大祭『ON FLEEK!!』を開催しました
- 同窓会からのお知らせ P14

工

Kodai

大

Jin!

人



コロナに負けるな!! 工大人



東北工業大学同窓会 会長

秋元 俊通 (あきもと としみち)

1975年 土木工学科卒業 (5回生・菊地研究室)
現在 株式会社 秋元技術コンサルタンツ
代表取締役
土地家屋調査士 秋元俊通事務所 所長

晩秋の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりお寄せいただいておりますご理解とご支援とに感謝申し上げます。

昨年1月から始まった新型コロナウイルス感染拡大は、第5波がやっと鎮静化いたし、緊急事態宣言も蔓延防止重点措置も9月末日をもって全国すべてで解除され、一安心の感があります。しかし、油断は禁物で、年末年始ごろの第6波が懸念されております。また、一昨年から続く全国各地での台風や大雨では多くの被害が頻発しており、今年2月の福島県沖地震 (Mj7.3) や10月に起きた千葉県北西部地震 (Mj5.9) なども発災しており、まだまだ先行き不透明な時代といえそうですが、私たちは自らの健康や安全に最大限の注意を払いながら、与えられた使命を果たし、社会再生のために活躍して行こうではありませんか。

我らの母校が創立 55 周年を迎えて打ち出した5か年計画「TOHTECH2023」の寄付金募集にこたえて、昨年の予算に従い当同窓会から1千万円の寄付をさせていただきました。また、教育振興助成基金に100万円の寄付をいたしました。会員皆様にもご寄付のご協力を大学になり替わってお願い申し上げます。

当同窓会といたしましては、新型コロナウイルス感染拡大を避けるために、役員会をeメールで実施したり、リモートを含めたコロナ対策を十分にした会場で開催したり、最小限の人員での会議や活動に努めております。その一環として、今年の大学祭と同時期に開催される当同窓

会総会も11月に延期され、昨年度と同様に大学祭はリモート開催、同窓会総会はホームページや機関誌「工大人」を活用しての、書面による決議とさせていただきます。また、当同窓会の数少ない今年の活動で特筆すべきことは、大学のSDGs事業の一環での山形県円卓会議に「山形支部」会員と協力してリモートでの参加をいたしましたことがあげられるでしょう。これからも各支部との懇談をリモートで開催できるとの実感を得ましたので、今後は積極的に取り組んでまいりたいと存じます。蛇足ながら、このリモート技術の進歩は、皮肉なことにコロナ禍の賜物だといえるでしょう。

今年の当同窓会の重点活動は、地域支部および職域支部との交流拡大、母校への積極的支援、在学生への支援拡大、ならびに同窓生の転職希望者のための企業紹介です。母校の歴史と伝統を護りそして発展に寄与することは、私たち同窓生の拠り所を守ることになりますので、今後も母校には大いに貢献してまいりたい所存でおります。会員の皆様のご賛同を期待しております。

当同窓会は、まもなく創立 35 周年を迎えます。これまでの会員各位からお寄せいただきました深いご理解と篤いご支援に感謝申し上げますと共に、皆様の今後益々のご健康とご活躍を祈念いたしながら、「コロナに負けるな!! 工大人」のエールをお送りし、工大人 Vol.25 発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。

令和3年10月記

東北工業大学同窓会 第37回定時総会について

今年度の同窓会定時総会は、昨年度同様に新型コロナウイルス感染対策のため、書面審議といたします。

つきましては、総会資料を会員の皆様(会費納入及び送付先を把握している方)へ、「工大人」に同封し送付いたします。ご意見・ご提案がありましたら、下記同窓会事務局に FAX、E-mail のいずれかの方法でご連絡ください。

【議題】

- <1> 令和2年度会務・事業報告について
- <2> 令和2年度決算報告・監査報告について

<3> 令和3年度事業計画(案)について

<4> 令和3年度予算(案)について

【期限】 令和3年11月26日(金)

※ご承認いただける場合、特に返信の必要はありません。

定時総会がこのような形になりましたこと誠に残念ですが、会員の皆様にはご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東北工業大学同窓会事務局

mail : dousoukai@tohtech.ac.jp

FAX : 022-305-3337

http://koudai-dousoukai.net/

福島県円卓会議(情報交換会)の開催について

令和3年11月13日(土)に、いわきワシントンホテル椿山荘及び Zoom ミーティング配信により「東北工業大学 オンライン福島県円卓会議」を開催いたします。

前半は、工学部都市マネジメント学科 菅原景一講師から「持続可能であることを目指す社会における研究とは」をテーマに講演をいただき、後半は、副学長 建築学部長 石井敏教授がモデレータとなり、テーマ「大学の近況及び東北 SDG s の研究実践拠点について」の話題提供の後、同窓会福島県同窓生から3名が登壇し、「福島から工大に期待したいこと-持続可能な東北をめざして-」をテーマに円卓会議(情報交換会)を行い、多くのご意見、ご提言をいただきます。

(概要は同窓会 HP に掲載いたします)

【日時】 令和3年11月13日(土) 13時30分～15時30分

【会場】 いわきワシントンホテル椿山荘及び Zoom ミーティングで配信

【共催】 東北工業大学・東北工業大学同窓会

【協力】 東北工業大学同窓会福島県同窓生

【内容】 1. 開会 挨拶 東北工業大学 学長 渡邊 浩文
東北工業大学同窓会 会長 秋元 俊通

2. 講演 ～研究活動事例～

テーマ: 「持続可能であることを目指す社会における研究とは」

講師: 工学部 都市マネジメント学科 講師 菅原景一

3. 福島県円卓会議(情報交換会)

テーマ: 「福島から工大に期待したいこと-持続可能な東北をめざして-」

モデレータ: 東北工業大学 副学長 建築学部長 教授 石井敏

「大学の近況及び東北 SDG s の研究実践拠点について」

円卓会議登壇者:

佐藤 廣氏 (建築学科卒 ㈱いわきティーフンビル 代表取締役社長)

青木 弘氏 (建築学科卒 ㈱加地和組 常務取締役)

阿部健一氏 (土木工学科卒 元いわき市都市計画整備部長)

※情報交換では工大教員の皆さまからご提案をいただきます。

4. 閉会 挨拶 (15:25～15:30)

学校法人東北工業大学 特別顧問 今野 弘

巻頭特集

Special Feature

新学長 × 新特別顧問
特別対談

Profile

HIRONORI WATANABE

1993年3月
早稲田大学大学院
博士課程 修了
1998年10月
東北工業大学
工学部 建築学科 講師
2008年4月
東北工業大学
工学部 建築学科 教授
2014年4月
東北工業大学
工学部 工学部長
2016年4月
東北工業大学 副学長
2021年4月
東北工業大学 学長

新学長
渡邊 浩文 氏

新特別顧問

今野 弘 氏

Profile

HIROSHI KONNO

1979年3月
東北工業大学 工学研究科
土木工学専攻博士課程
後期 修了
1979年4月
東北大学 助手
1980年4月
東北工業大学 工学部
土木工学科 講師
1995年4月
東北工業大学 工学部
土木工学科 教授
2008年4月
東北工業大学 副学長
2016年4月
東北工業大学 学長
2021年4月
東北工業大学 特別顧問



就任の抱負について

渡邊 東北工業大学がこれまで築き上げてきた歴史、すなわち建学の精神である「わが国、特に東北地方の産業界で指導的役割を担う高度の技術者を養成する」ことを継承し、より発展させていきたいと考えております。また中期計画TOHTECH2023に掲げる将来ビジョン「東北地方に位置する最も魅力ある工科系私立大学」の実現に向け、本学の良さ、優れる面を学生・教職員が改めて認識共有し、それを適切な確に発信することで、社会からの認知の一層の向上を図ります。いわゆるブランディングです。

今野 大学における特別顧問としての業務は、同窓会との連携と、TOHTECH2023寄付金募集事業の二つです。一方、東北工大同窓会からは、同じく「特別顧問」の委嘱を受け、委嘱状には「同窓会運営に有益な助言をあたえること」と謳われています。私としては、大学の特別顧問の役割を全うする中で、同窓会から受けた委嘱に応えたいと考えております。また、現在大学が進めているTOHTECH2023計画の中の6つの基本方針に示されているように、同窓会は、大学の最も大切なステークホルダーの一つであります。大学と同窓会の連携した活動は、双方の発展に不可欠であり、特別顧問として、大学と同窓会の両機関の発展に貢献したいですね…。

本学の現状と重点事業について

渡邊 コロナ禍の学長就任となり学内感染予防に気を揉む毎日ですが、一方で本学は、加速するデジタル化への対応を全国的に見てもスムーズに進めることができています。オンラインもしくは対面とオンラインを併用するハイブリッド型授業は、アフターコロナとなっても効果的な教育手法として有望ですので、現在でも学内の優れた手法の共有を図る研修会を開催するなど、継続的に教育の高度化に努めています。また、AI人工知能に関する体系的な教育を今年度から新たに始めました。全学生必修の人工知能総論(1年・前学期)、選択科目として人工知能入門(1年・後学期)、そして2023年度開講となる選択科目、人工知能基礎(3年・前学期)、人工知能応用(3年・後学期)です。これらは同窓会の皆様にとっても興味を覚えるところかと思えます。是非、科目等履修生制度を活用して受講いただければと存じます。研究については、2018年度に開設した東北SDGs研究実践拠点の拡充を進めています。防災減災技術、医工学・健康福祉、地域・地場産業振興という3つのコア研究に加えて、気候危機・対策技術、Society5.0の2つの拠点を追加し、計5つの研究拠点を構えて学内外連携の研究・実践を進めています。研究支援センター・地域連携センターに何なりとご相談いただきたく、お願い申し上げます。今年は3月に、山形県支部との共催による円卓会議をオンライン配信にて実施いたしました。

同窓会への重点課題について

今野 同窓会の目的は、会員(卒業生、学生および教職員)相互の親睦を図ること、また、大学の隆盛を図ること、そして、社会に寄与することです。同窓会で謳っている目的は、先ほどお話した通り大学およびTOHTECH2023で計画している事業と同一方向にあります。一つに会員の親睦ですが、全学同窓会は、卒業生間の親睦(同学科、同期、同地域の会員など)に関してある程度組織化が進み、各組織活動に補助支援されていて、親睦を図る活動については相当程度評価できます。二つ目には、大学の隆盛を図ることですが、卒業生の社会的活動は高く評価されているため、大学の社会貢献度を高めていると認識しており卒業生個人の現状の活動は大いに評価できると思います。今後、重点事業としては、企業などの卒業生の親睦活動への補助支援が比較的に弱いので、まずそのための組織づくりが必要と思います。具体策としては、卒業生の自治体、企業、職種などの組織化(職域支部)促進の手助けなどで、例えば、市町村支部、〇〇(会社)支部、建築士支部、技術士会支部などです。三つ目は本学後援会とその支部組織との連携です。各県後援会との連携推進の手助けを考え、それには各県の円卓会議を同窓会として支援することが良いと思います。社会に寄与することは、前述した活動を全うすることで達成できると考えます。

これからの同窓会に期待したいこと

渡邊 いま大学は、教育・研究・社会貢献・大学運営の全てに学内外連携が求められています。また、社会の公器の一つである大学が、社会に一層開かれることが望まれます。本学を深くご存じの同窓会諸兄姉には、是非とも社会の第一線でのご経験を本学のためにご提供いただきたく希望しております。そのためにもご近況と連絡先を同窓会事務局にお知らせいただきたく存じます。また八木山キャンパス新棟1期「教育・実験棟」の工事が始まり、新棟2期工事も控えています。何卒ご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

今野 同窓会への期待としては、(1)非常勤職員としての教育や課外活動への協力支援、(2)研究環境、社会貢献に関する円卓会議等参画などによる協力支援、(3)大学環境に関する卒業生やその企業等からの技術的、財政的支援。この3つの今後の継続的な支援を期待しています。一方で大学としては卒業生を末永くサポートする策を検討する必要があります。(1)情報(中途採用等のための就職支援情報など)の提供、(2)卒業生子女に対する入学時等の優遇措置の検討、などです。

八木山キャンパス新築建設

八木山キャンパス内の4つの老朽化建物の建替えを中心として整備基本計画（マスタープラン）を作成し、2021年4月より新棟1期工事として「実験・教育棟」を建設しております。1期工事は2022年9月竣工予定です。



実験・教育棟イメージパース

基本コンセプト

人・活動をつなぐ「知(地)の杜」東北工業大学

- ◆人・活動・知をつなぐ『コモンサークル』
- ◆居場所となり交流を生む『toitech SPOT』『toitech COMMON』
- ◆学科の領域を超え新しい価値を生む機能別の棟構成
- ◆将来を見据えた八木山キャンパス全体構想
- ◆新棟建て替えを研究材料とするチャレンジラーニングプロジェクト



工事の様子【2021年11月1日現在】

大学施設に関わる様々な人々に対して、快適な研究・教育環境の維持や機能支援を行うとともに、社会的ニーズでもある地球環境の維持の観点から省エネルギーや省資源化などの環境負荷低減に努める他、機器やシステムの安全性・信頼性に留意した空調換気設備計画などを行います。

実験・教育棟には、水質化学系、電気電子・情報通信・物理系の各実験室・教室棟を配置し、高度な工学研究・教育を実施する大学を実現するべく、利便性、容易性、信頼性、経済性及び環境性などの要素に配慮し、機能維持、運用支援、環境配慮を重視した計画とします。



完成イメージ（内観）

工事概要

設計・監理	株式会社佐藤総合計画
施工	清水建設、仙建工業、阿部和工務店、建設工事共同企業体
構造種別	S造 地上4階
建築面積	2195.13㎡
建築期間	2021年4月着工 2022年9月竣工予定

最新の建設状況を本学 web サイトに掲載しております。



八木山キャンパス新棟建設特設サイト

TOHTECH2023 募金 ～協創する知の杜をめざして～

ご支援のお願い

東北工業大学では「八木山キャンパス整備基本計画」を策定し、2021年4月に新棟1期（実験・教育棟）の建築に着工いたしました。

本計画を実現するため、本学としても自助努力により計画を進めてまいりましたが、一連の事業には多額の資金を要するため、同窓生の皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。

寄付金募集要項

■ **募金の名称** TOHTECH2023 募金～協創する知の杜をめざして～

■ **募金の目的**

「学部学科改組再編」及び「八木山キャンパス整備基本計画」等の事業資金に充当

■ **総事業費** 100億円（学部学科改組再編に係る教育設備の経費、新棟1期・2期建設経費及び既存建物・キャンパスの整備費 等を含む）

■ **募金目標額** 2億円

■ **募金期限** 2024年3月31日

■ **募金の対象**

同窓生、学生父母、本学役員、教職員、団体・法人企業及び本学の教育への賛同者

■ **募金金額**

（個人様） 一口1万円 二口以上
（法人様） 一口5万円 二口以上

口数・金額にかかわらずありがたくお受けいたします

■ **寄付申込方法**

(1) インターネットによる申し込み (2) 郵便振替・銀行振込による申し込み

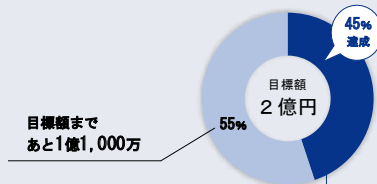
■ **顕彰**

(1) ご芳名録への掲載 (2) 銘板への掲載

この寄付金は、個人様、法人様ともに税制上の優遇措置を受けることができます

募金申込状況

目標額：2億円 募金期間：2019年11月～2024年3月



2019年11月から募集を開始した「TOHTECH2023 募金」は2億円の目標に対し、約9,000万円(2021年9月末日現在)のご支援をいただいております。

(寄付者内訳)

個人様 37%	団体様 45%	法人様 19%
440件	6件	35件
3,300万円	4,000万円	1,700万円

個人様のうち、同窓生からのご支援 233件

申込金額 9,000万円 (2021年9月末日現在)

<問い合わせ先>

学校法人東北工業大学 財務課(募金担当)
〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町 35-1
Tel. 022-305-3505 / Fax. 022-305-3362
Mail. zaimu@tohtech.ac.jp

こちらより本学寄付金募集ページにお進みいただけます。

https://www.tohtech.ac.jp/corporation/reconstruction_aid/index.html



山形支部

東北工業大学 オンライン 山形県円卓会議(情報交換会)を 開催しました

同窓会山形県支部副支部長

松田 隆志(まつだ たかし)氏

1977年 土木工学科卒業(7回生・佐藤・高橋(龍)研究室)

現在 升川建設株式会社 主幹

東北工業大学同窓会、在学生の皆様お元気でお過ごしでしょうか。当山形支部は2019年11月9日に設立致しました出来立てほやほやの支部です。大学、同窓会本部、発起人の皆様の御助力で設立総会、記念講演、懇親会とホテルで盛大に行事を行う事が出来ました。ここで改めて皆様に御礼申し上げます。そしてこれから得意な飲みにケーション(笑)を生かして「新たなネットワークを広げていくぞ～」と、決意も新たにしたいのですが、皆様もご存じの通り2020年からはコロナ禍の為身動きが取れなくなってしまいました。2020年は何も活動する事が出来ず鬱々としていたところ年明けの今年2021年1月30日にオンラインで山形県円卓会議を開催するとの連絡が入りパネラーの登壇者だけ工大に行き他はオンラインで参加という事でした。

「コロナ時代はこれだ～」と私もパネラーとして参加するぞと勇んでいたのですが、コロナ感染が激しくなり延期となりました(涙)しかし大学と本部等の御尽力のおかげで3月20日に開催することに決定しました。令和3年3月20日(土)13時30分～15時30分(Zoomウェビナーで配信)学長と同窓会会長に挨拶を頂き、その後「地技(じわざ)がつくる景をデザインする」をライフデザイン学部 生活デザイン学科 学科長・教授 大沼様に講演して頂きました。その後いよいよ山形円卓会議(情報交換会)が始まり、テーマ「山形から工大に期待したいことー持続可能な東北を目指してー」について副学長 渡邊様から

「大学の近況及び東北のSDGsの研究実践拠点について」の報告がありその後4人の登壇者によるテーマに基づいた報告や意見等が述べられました。わたしもその中の一人として山形の自宅からオンラインで参加させて頂きました。私は20代後半から今現在もそうですが磐越道、常磐道、日本海沿岸道、最近では東北中央道などの高速道路工事を中心に従事した経験から国土交通省発注工事のアナログからデジタルへの変換期の内容を実際の事例で報告致しました。締めとして同窓会山形県支部の仲川支部長より閉会の挨拶があり無事終了しました。それぞれ違う業種からの報告意見等は 大変参考になり有意義な円卓会議となりました。

最後に、我が社には今現在、建築9名・土木7名の計16名の工大の卒業生がおります。会社だけでちょっとした同窓会が開けます(笑)今回円卓会議に参加して情報交換の大切さを痛感致しましたので我が社の工大卒業生にも又、是非こういう機会を作ってあげたいと思いましたので、機会がありましたら今後ともよろしく願い致します。



尚建会（建築学科同窓会）

尚建会再始動について

野津 弘（のづ ひろし）氏

尚建会会長・建築学科1976年卒

建築学科同窓会である尚建会は1985年全学同窓会の発足に伴い活動休止状態となっておりました。唯一、成績優秀者への尚建会賞授与のみが継続されてきております。

2016年、建築学科の創立50周年記念事業を通し、教職員の皆様と建築学科卒業生が一体となり、4回にわたる企画・講演等から盛大な記念式典まで連続的な記念事業を行うことが出来ました。この記念事業を通し卒業生から同窓会活動、尚建会の復活が切に望まれておりました。

建築学科が工学部建築学科から建築学部建築学科となったことを契機に、卒業生が学部・学科と手を携えながら在学学生を支え、卒業生

同士のネットワークを作り上げながら、教職員と連携し、建築学科の発展に寄与する尚建会を再始動していこうと云う機運が高まりました。このような背景の中、本年2月に臨時総会を開き体制を整えました。活動の基本的な方針として、学生と卒業生（社会）を繋ぐ、卒業生と建築学科・大学を繋ぐ、卒業生同士を繋ぐ、さらには社会貢献、地域貢献を視野に入れた活動を掲げました。コロナ禍であり、思うように集まる事が出来ない状況から、本年は準備期間として活動の在り方を議論し、具体的な活動内容を模索していく年と位置付けています。現在の今後の活動の例として尚建会ニュースの発行や、尚建会サロンの開催等が検討されており、年明けには皆様ご案内できるよう議論を進めていきたいと考えております。この建築学科同窓会・尚建会の再始動が全学同窓会の活動に寄与できるよう頑張っております。

工大杜の会（土木系学科同窓会）

令和3年度 「工大杜の会の集い」 中止のお知らせ

「工大杜の会」は土木工学科・建設システム工学科・都市マネジメント学科の同窓会組織です。工大杜の会では、例年「工大杜の会の集い」を開催しておりましたが、新型コロナ感染拡大防止の観点から、昨年度に引き続き中止することになりましたのでお知らせいたします。

工大杜の会【土木工学科・建設システム工学科・都市マネジメント学科卒業生同窓会】

令和3年度 東北工業大学「工大杜の会の集い」中止のご案内

「工大杜の会」会員の皆様

工大杜の会 会長の加藤嘉寛です。

会員の皆様には日頃から本会の趣旨に対する賛同とご協力に感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスに感染することなく元気に過ごしのことを存じます。さて、皆様も承知のように新型コロナウイルスの猛威は衰えを知らず、複数の変異型ウイルスを派生させながら全国各地で拡大を続けております。第4波到来が叫ばれる中、「まん延防止等重点措置」が4月5日から、宮城県をはじめ、大阪府、兵庫県の計6府で初めて適用されるなど、今後も予断を許さない状況となっています。

また、ワクチン接種が高齢者から徐々に始まっていますが、10月までに全世代への接種が見通せない状況です。

このような状況を踏まえると、今年も感染防止の観点から「工大杜の会の集い」を中止せざるを得ないとの判断に至りました。

毎年100余名の参加者があり、会員相互の情報交換や再開を楽しみにしておられる会員が多数いることは重々承知しておりますが、集いまでに新型コロナウイルスの感染が完全終息する見通しが立っていないことから、昨年6月の中止案内で、「第17回 工大杜の会の集い」は、令和3年10月23日に開催するとお伝えしておりましたが、断腸の思いで今年も開催を見合わせることにいたします。

末尾になりますが、このあとも皆様には感染に十分ご注意ください、健康で元氣なお姿での再会を楽しみにしていただきたいと存じます。

令和3年4月

工大杜の会 会長 加藤 嘉 寛

工大杜の会【土木工学科・建設システム工学科・都市マネジメント学科卒業生同窓会】

新副学長ご挨拶

コロナ禍を乗り越えた 先の新しい大学の姿

副学長

小林 正樹 (こばやし まさき) 氏



1961年 長野県生まれ
1985年 東北大学工学部電気工学科卒業
1986年 新技術開発事業団(現科学技術振興機構)
1991年 山形県テクノポリス財団、(株)生体光情報研究所を経て
2000年 東北工業大学工学部電子工学科助教授
2006年 同教授
2016年 工学部長

いまだはっきりと先が見通せないコロナ禍にあって、学内もウィズコロナの日常が定着し、学生たちも様々な制約がある中でも前向きに勉学に励んでいます。昨年度は、期せずしてオンライン授業に転換しましたが、今年度もその利点も生かしつつ一部の授業で継続しています。ICT(情報通信技術)を活用し教育効果を上げる、工大ならではの新しい学びの形を模索しています。

さて、最近のAI(人工知能)やICTの急速

な発展は、社会のありようを大きく変えつつあります。コロナ禍によりさらにそれが加速する中で、大学にも大きな変革の波が押し寄せています。現代においては、これまでの学問領域を基盤としながら、様々な分野が領域横断のかつ重層的に融合し新しい学問や技術が次々と生み出されています。これからの社会を担う人材は、そこで必要とされる知識を身につけることはもちろんですが、それらを使いこなし変化に柔軟に対応し、経験のない課題に果敢に取り組む力が求められます。このような社会の要請に応えるべく、本学も大学のあり方や教育のあり方を根本から見直す時期にきています。社会が求める人材をこれからも輩出し、地域・社会に貢献する使命を果たすべく、工大らしさを生かしながら変わり続ける努力を行って参ります。同窓会諸氏におかれましては、新しい工大を共につくる“工大”人として、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

新副学長ご挨拶

本学の持続的発展と 魅力発信のために

副学長・建築学部長

石井 敏 (いしい さとし) 氏



1969年 米国生まれ 静岡県出身
2001年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
博士後期課程修了
2001年 東北工業大学工学部 建築学科 着任
2010年 東北工業大学教授
2014年 東北工業大学建築学科長
2020年 東北工業大学建築学部長兼建築学科長

本年4月より副学長(建築学部長兼任)を拝命いたしました。主に産官学間及び地域との連携や、広報の推進など「教育研究の奨励・発信」を担当いたします。渡邊学長のもと本学の持続的発展とさらなる魅力向上と価値創造、その発信のため尽力する所存です。どうぞよろしく願いいたします。

今年度、本学では「ブランディング」策定のプロジェクトを進めており、その担当を務めてい

ます。本学のステークホルダーに対して、今後どのような大学として歩んでいくか、私たちの決意と覚悟を表明するため、私たち自身で本学の価値や魅力を再確認し、また現状を客観視しながらあるべき姿を明確にして提示すること(=ブランディング策定)を目指しています。教職員アンケートからは、「堅実」で「親しみやすい」一方で、「素朴」で「おとなしい」という本学のイメージ・姿が浮かび上がっています。これらの結果も踏まえて、10年後、私たちはどのようにありたいか、どうあるべきかを模索している段階です。

半世紀をかけて教職員、同窓生の皆様と築きあげてきた本学の価値と魅力を、しっかりと社会、そして次の時代に伝えられるよう、広報・情報発信をさらに充実させて参りたいと考えています。ホームページでもタイムリーに、積極的に本学の姿をお伝えすることを心がけています。お気づきのことやご提案などございましたら、ご遠慮なくご意見頂戴できましたら幸いです。

学部長・学科長のご紹介

工学部

学部長 工藤 栄亮

電気電子工学科

学科長 内野 俊

情報通信工学科

学科長 木戸 博

都市マネジメント学科

学科長 須藤 敦史

環境応用化学科

学科長 山田 一裕

建築学部

学部長 石井 敏

建築学科

学科長 有川 智

ライフデザイン学部

学部長 小祝 慶紀

産業デザイン学科

学科長 堀江 政広

生活デザイン学科

学科長 大沼 正寛

経営コミュニケーション学科

学科長 宮曾根美香

新学部長ご挨拶

楽しい学びの場を 目指して



工学部長

工藤 栄亮 (くどう えいすけ) 氏

1988年 日本電信電話(株) 入社
2001年 東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 助教授
2009年 東北工業大学工学部情報通信工学科 教授
2018年 東北工業大学工学部情報通信工学科 学科長

同窓生の皆様には常日頃よりご支援いただき、感謝申し上げます。この4月より工学部長・工学研究科長となりました、工藤栄亮と申します。

就任してすぐに高校生向けの広報ビデオを撮影しました。その際、「工学とは人の暮らしを豊かにする学問です、そのような学問を学ぶのですから、工学部の学びが楽しくないわけがありません。」と申しました。これは高校生へのメッセージですが、学生に楽しいと思ってもらうため

には、教員も教育・研究を楽しんでないといけませんし、職員も業務を楽しんでもらわないと、キャンパスは楽しくなりません。

今年度、大学院入学者は3年ぶりに定員を充足しました。また、渡邊学長を拠点リーダとする気候危機・対策技術研究拠点と私が拠点リーダをつとめる Society 5.0 研究拠点が加わり5つの研究拠点となりました。さらに、6つの新しいプロジェクト研究所が設置され計21のプロジェクト研究所となりました。

一方、昨年来のコロナ禍、東北地区における若年層の人口減少、さらには2023年に予定されている東北学院大学の五橋移転・学部再編など、対応が難しい環境変化に本学は直面しています。

同窓生の方々にとって誇れる母校でありつづけるため、楽しい学び場の構築を目指して努力を重ねて行く所存ですので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

新学科長ご挨拶

情報通信工学科の 近況報告

情報通信工学科 学科長

木戸 博 (きど ひろし) 氏

1987年 警察庁 入庁
2004年 東北工業大学 工学部 情報通信工学科 助教授
2014年 東北工業大学 工学部 情報通信工学科 教授
2021年 東北工業大学 工学部 情報通信工学科 学科長
AI教育推進室 室長 (兼務)



同窓生の皆様には日頃よりご支援をいただき感謝申し上げます。前学科長の工藤栄亮教授の工学部長就任に伴い、今年度から学科長を務めることになりました本学同窓の木戸です。

2021年3月に学科長を長年務められた村岡一信教授が退任され、新たにVR(仮想現実)やマルチメディア通信に関する研究をされているグエン・ヴァン・ドック講師をお迎えました。グエン講師は将来が楽しみなベトナム出身の若手教員です。当学科の教員は、教授9名、准

教授4名、講師2名となりました。

今年度の入学者も140名と定員(120名)を満たしています。一方、就職率は91.0%と、ここ数年はほぼ100%で推移してきた値を下回る結果となりました。しかし、就職を望んでいた学生は全員内定を得ており、就職意欲の低い学生が取り残される形となっています(就職希望せず4名)。これは密な指導が行えなかったコロナ禍の影響とも言えます。

また、今年度から大学全体の取り組みとしてAI教育推進室が発足しました。これは政府のAI戦略を中心とした教育改革に応えたものです。AI技術は当学科の専門分野と関連が深く、木戸が推進室長を兼務することになりました。これからも情報通信工学科は未来へ向けて重要な役割を担うと考えます。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新学科長ご挨拶

弛みなき歩み、 工大建築の未来へ！

建築学科 学科長

有川 智 (ありかわ さとし) 氏

1989年 東北大学 助手、講師
1997年 建設省建築研究所 主任研究員
2004年 国土交通省国土技術政策総合研究所 室長
2007年 独立行政法人建築研究所 上席研究員
2012年 東北工業大学 教授



同窓生の皆様には日頃よりご支援を賜り心より感謝申し上げます。昨年4月に建築学部がスタートし、今年は二年目となります。東日本大震災から10年という節目の年、そして昨年からは続くコロナ禍のなか、新生物学部として着実に軌道に乗せていかなければなりません。今春も定員を大きく超える162名の新入生を迎え、対面とオンラインのハイブリッド授業が始まりました。オンライン講義に慣れるまでは試行錯誤を繰り返してきましたが、漸く学生一人ひとりに応じた

機動的な指導ができるようになってきたと感じています。また、建築に対する学生のモチベーションを喚起するため、昨年からはオンラインで始まった“Lecture for young architects”は、第一線で活躍する建築家や技術者を講師としてお招きし、本学学生だけでなく広く国内外からも視聴されており、開かれた学びの場として東北工大建築学部のプレゼンス向上に繋がっています。

一方、学科の体制については、学長に就任した渡邊浩文教授の後任として、8月に建築研究所から鍵屋浩司教授が着任し、更に建築設計・デザイン分野での教員公募も進んでいます。今後、より一層充実した教育研究体制を整えていくことになります。これまで50年を越える歴史のなかで培われてきた工大建築のアイデンティティーを引き継ぎ、更なる高みへと進んでいくためには歩みを止めるわけにはいきません。引き続き、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

仙台城南高等学校は次のステージに向け発進します

仙台城南高等学校 校長 中川西 剛

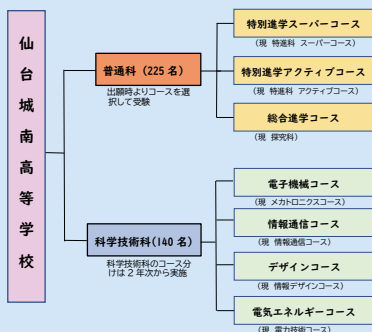
東北工業大学同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、本校は次のステージへ進むべく来年度より学科改編を行います。生徒の多様な進路実現に力を入れた教育を推進するため右下図の通り2学科7コースとします。

特別進学のスーパースーパーコースとアクティブコースにつきましては、国公立大等の難関大合格を目指した学習指導を更に充実してまいります。新設の「総合進学コース」では、3年次で選択することになる4系列の学びをこれまで本校で培ってきた探究学習の成果を活かし、卒業後の進路に繋げてまいります。科学技術科は東北工業大学進学を見据えた学習内容として再編成し、東北工業大学との連携の

強化も図りながら、AI教育などの先進的な学習にも取り組んでまいります。

社会は、益々困難さや複雑さを増す厳しい状況にありますが、生徒には高校の3年間で幅広い知識や教養を身につけ、将来は様々な課題を知恵と勇気で解決できる人材に成長してほしいと願っています。



第46回工大祭

『ON FLEEK!!』を開催しました!

第46回工大祭はテーマを『ON FLEEK!!』として開催しました。

私たち第46代大学祭実行委員は、これまでの対面で行う工大祭を経験したことがありません。しかしながら、昨年のオンライン開催の経験、今まで積み上げてきた伝統に加え、新たな発想のもと「今までにない最高の工大祭」が開催できたと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、来場者は学生・教職員に限定しての開催となり、一般開放は行いませんでしたが、同窓生の皆様にもオンラインでの配信をお楽しみいただけましたことと思います。

実はこの原稿の執筆時点では、まだ開催前で準備をしており、まさにラストスパートといっ



た時期ですが、『ON FLEEK!!』のテーマにふさわしい「最高」な工大祭をお届けできたことでしょう。

いずれコロナ禍が終息し、工大祭も安全に対面実施が可能となりましたら、皆様にお会いできることを楽しみにしています。



第45回工大祭

同窓会会員のデータ確認作業のお知らせ等

同窓会では、同窓生の最新住所やメールアドレスを把握し、同窓会や大学からのお知らせの送付や同窓会のメルマガ配信などにより、大学や会員間との円滑なネットワーク形成に寄与したいと考えております。

そこで、第一弾としまして一部の同窓会会員対象に会員データの確認作業を行っております。

今後も引き続き会員データの確認作業を行って参りますので、その際には何卒、ご協力をお願い申し上げます。

なお、同窓会ホームページからも住所変更やメールアドレスなどの届け出が可能です。是非、ご利用ください。

メルマガ配信や同窓会ホームページ、さらには「工大人」の編集・企画の充実など現在、整備中です。その中で、逝去された会員の訃報情報をご遺族の承諾をいただき同窓会ホームページなどでの掲載も予定しております。

何卒、これまで同様、お引き立てご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【ホームページからの会員データ登録方法】

The image shows a screenshot of the alumni association website. The top navigation bar has a link labeled "ここをクリック" (Click here) in a red box. Below the navigation bar, there are several banners and a main content area. On the right side, there is a section titled "会員データ変更" (Member Data Update). This section contains a form with various input fields for updating member information. At the bottom of the form, there is a "確認" (Check) button, which is highlighted with a red box and the label "忘れずに" (Don't forget).



TOHOKU INSTITUTE
OF TECHNOLOGY

新たなネットワークをめざして

東北工業大学 同窓会

事務局 東北工業大学キャリアサポート課内
〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1
TEL.022-305-3336 / FAX.022-305-3337

同窓会ホームページ

<http://koudai-dousoukai.net/>

